

■これまでに市に寄せられたご意見、ご要望など

	項目	主なご意見・ご要望主旨
1	利活用提案	<ul style="list-style-type: none"> ・旧赤星邸は、新旧カルチャーを発信できる場所として、市に所縁のあるアーティスト等が中心となって活動し、地域の活性化に繋げていければ良いと考える。 ・建物は、レーモンド設計建築部分のみ活用、ギャラリーや多目的に貸し出すなどのほか、ムービーやスチール撮影等のハウススタジオとしての運営が考えられる。 ・庭は、現状の景観を維持しながら、週替わり、月毎にテラスにてカフェの運営のほか、フリーマーケットなどのイベントに使用できる。 ・また、施設のネーミングや、内外に統一したイメージをつくるための戦略として、シンボルマークやロゴといった視覚の統一を図り、建築好きだけでなく、様々な方々に利用頂けるよう、若い世代にも受け入れられる普遍的なイメージブランディングが必要である。ロゴなどの活用による物販などによる収益性も考えられる。
2	利活用提案	市内で銭湯が無くなっている。コミュニティ拠点として、この場所を銭湯にできないか。
3	利活用提案	<p>利活用にあたっては、民間の活力を最大限活かした活用を。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 空間特徴を活かし、多人数が宿泊可能な宿泊施設 2. 踏み荒らされていない環境下で貴重な樹木と在来種が今も生育している可能性があり、重要な緑の拠点として保全する 3. みどりと建物を一体とした武蔵野ならではの文化の発信拠点 4. 災害時の地域防災拠点としての活用 5. 国内外横断的なネットワークを形成し、市の景勝地として地域全体の更なる活性化図るとともに、ここから文化発信を図る 6. 歴史的資産の継承活用 <p>*「旧赤星邸の活用を考えよう」参照（3ページ以降） （令和2（2020）年2月1日、同会開催ワークショップの意見集約）</p>
4	ご意見	<ul style="list-style-type: none"> ・南側の樹木が繁茂しており、昼間でも暗く、風が通らない。 ・小動物（たぬき、ハクビシン、ねずみ）が増えた様に思う。
5	要望	・近隣のプライバシーの確保に対して配慮して欲しい。
6	要望	・今後の利活用検討にあたっては、市民の意見を聞いてもらいたい。
7	要望	これまで旧赤星鉄馬邸に関し、査読付論文(建築学会計画系論文集)や、国際学会(Docomomo International Conference 2022 及び 2020)、学会発表(建築学会大会)等にて、さまざまな側面より学術的な分析を行ってきた。旧赤星邸の

		<p>学術的な既往研究を調査した結果、これまで他に調査された方はほとんどおられず、当方の研究が上がってくるのみのため、研究成果に一定の価値はあるものと認識している。旧赤星鉄馬邸の研究を行ってきたことを踏まえ、これまでの研究成果や国際学会における海外研究者のコメント等を伝える機会をいただきたい。</p>
--	--	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

旧赤星邸の活用を考えよう

日時：2020年2月1日（土）14:00～18:00

（意見を付箋に書いて頂きました。最初に・をつけた意見が付箋1枚分です。）

<コンセプト>

社会包摂（Social Inclusion）

- ・全世代を対象に、社会的に孤立する人を作らない
- ・読みきれないTotalityへもう一度戻ろう

育成－育てる・育つ

- ・育てる
- ・子どもから大学生までの成長
海外との交流のための施設
プログラムを中心とする
- ・人、地域、コミュニティ、育ち、育てる

自然

- ・自然を楽しむ

継承

- ・未永く継承される家と庭
- ・武蔵野の文化の伝統を継承する
- ・武蔵野市指定文化財にする
- ・レーモンドの思想を大事にする

活用－保存だけでなく活用・幅広い活用

- ・地域の様々な世代の要望に答えられるように幅広く活用できるように運営すること
- ・大事に保存するだけではなく、あくまでも活用していきたい
山本有三記念館よりも実際に人が台所、寝室、お庭などを利用できる形で。

連携－他とのネットワークづくり・様々な団体との連携

- ・他の地域（国内外）で同じ関心の団体とのネットワークづくり
- ・他の団体と共同して各部屋ごとの利用をする

<活用案>

カルチャーセンターとして文化の種を育てる場所にする

- ・音楽やギャラリー、講演会などの小規模の文化施設として各世代で利用
- ・カルチャーセンター
- ・コミュニティーセンター（テンミリオンハウス）とは一線を画すものにしてもらいたい
子育て層や高齢者の施設ではなく、文化の種を作るところ
- ・赤星鉄馬時代からの「武蔵野市の文化人たちアーカイブス」
森田草
田宮寅彦
...

アントニン・レーモンド記念館

- ・本館2階
いずれも使用可の部屋として

赤星鉄馬本館2階記念館（使用可能）

- ・アニメによる紹介

(コインで見られる)

赤星鉄馬が創設した啓明会の紹介

記念品

与那原恵氏『赤星鉄馬 消えた富豪』(2019年11月10日、中央公論新社)

近代建築資料館

- ・書物
- 写真
- 論文
- 真ん中に大机
- コピー設備
- (2階お蔵)

武蔵野市迎賓館

- ・オリンピックも！！
- 盆踊り・屋台
- 浴衣着付け
- お茶会
- ・庭の一部に茶室を作る

文化講座とワークショップ

- ・アントニン・レーモンド設計の聖アンセルモ目黒教会は、併設された旧ドミニコ会(修道会)施設がカルチャーセンターとして活用されている。

防災講座レクチャー

- ・グラントアンバサダー育成講座

コンサート・野外も (ex 真夏の夜のJAZZ)

- ・クラシック
ダンス企画

ハコモノ文化ではない、この空間から発する文化、芸術を始める

・武蔵野市の文化、芸術は現在、箱モノの中で演じられている。しかし、武蔵野の特徴は、自然と文化との一体感にあり(国木田独歩『武蔵野』)、箱モノの中では武蔵野特有の文化が育たないし、武蔵野から他地域への文化発進もできない。幸い旧赤星鉄馬邸の緑と建物を武蔵野市公共施設として保存活用を願う活動は周辺の住民の方々からも賛同を頂いており、そのうち多数の方に会員になって頂いている。そのようにして培った相互の信頼関係の中で、音量などの細かい実施条件も周辺住民の方々とは協議しながら、武蔵野の特徴を残すこの旧赤星鉄馬邸の緑と建物を一体となった空間から、「武蔵野ならではの」の自然と一体となった住民参加型の文化、芸術を作り上げ、他地域に発信する。例えば、オーディションによる住民参加によるダンス作り、それに舞踏家田中泯氏の場踊りなどが考えられる。田中泯氏は、その土地に根差した自然と身体が一体化した身体表現を模索し続けており、舞踏と呼ばれる自然な身体表現や、それを活かした出演作「たそがれ清兵衛」やNHK朝ドラの演技は、国内的にも国際的にも評価が高い。加えて、田中泯氏は、東欧の開放を主導した芸術家たちと交流があり、その活動を支援して、東欧の開放にまで至っている。武蔵野市はルーマニアの都市と姉妹都市協定を結び、東欧とのゆかりは深い。しかも旧赤星鉄馬邸の設計及び建築を担ったアントニン・レーモンド氏はチェコ出身であり、武蔵野市移譲後のオープニングを飾り、「武蔵野ならではの」の自然と一体となった住民参加型の文化、芸術発信を始めるのにふさわしい。武蔵野啓明会では、これまで何度か田中泯氏側に接触し、会の活動をご理解頂いている。

市民相互の交流拠点

- ・異世代交流等

市民企画の文化発信

四季折々の生物に触れるプログラム

喫茶飲食施設として活用

- ・スイーツ
- ・赤星鉄馬ペンシルバニア大学留学時代にちなんだ食事
- ・ナミュール・ノートルダムにちなんだお手製クッキー

コミセンとして活用

- ・様々な部屋への要望をリサーチ

国際交流

- ・国際交流会館
- ・武蔵野市迎賓館
- ・国際交流 姉妹都市の方々の宿泊と交流プログラム

インキュベーション施設

- ・《離れの個室》
インキュベーション施設
低額の賃貸オフィス
- ・《離れの食堂》
インキュベーション施設利用者同士の交流、応接室
- ・レンタルオフィス

まちづくりセンター

- ・まちづくりセンター
- ・地域の活動団体の拠点

お庭などを貸し出す

- ・「レンタル庭園」として庭園を貸し切りにしてピクニックや披露宴、写真撮影、その他に使用する。
- ・ある程度のルールに則った自由に使える場所
- ・有料貸室
- ・時間貸しではなく、ある程度の期間、各部屋を団体が利用する

図書館

- ・子ども図書館

移動図書館拠点にする

- ・《庭の一部（南側入口）》移動図書館の拠点

読書室にする

- ・《1階食堂～テラス～庭》母と子の絵本の読書室
- 時間帯で活用する世代を分けて、全年齢で利活用する**
- ・昼は子どもや子育て世代が活用する場所とし、夜は成人がドリンク片手に文化談義等しながら、ゆっくりとくつろげる場所にする

お庭では子どもが遊べるように

- ・《お庭》
芝生の植えて保育園の園児さんたちの遊び場として使用する。例えば、朝 9:00～10:00、10:30～11:30 というように、時間区切りにし、ぶつからないようにして、1 保育園の時間帯には他の保育園は入らないようにするとの計画で予約制にはいかがでしょうか。

仮装パーティや撮影会場

- ・漫画やアニメの仮装「コスプレ」をしながら、パーティや撮影会の場所として利用する
(地方の廃校での成功例があるそうです)

庭の一部は自然のままに保存

- ・庭の一部は自然のままに保存

折りたたみ式舞台がある・屋台が出せる

- ・庭園に折りたたみ式屋外舞台

四季が楽しめる庭

- ・季節が楽しめる庭にする

プレイスメイキングが可能な場

- ・Place Making=この地域の Totality の回復
⇨実際は分節化を支援促進
逆に不足の露見の補完・充足に終わる。

ガイド付き見学会

- ・資料を用意する。資料は無料でいいと思いますが、ガイドブックを作って、よりよく知ってもらおうことを考えてもいいと思います。
- ・ガイドを用意する。私たち郷土史会は、見学に行く時にはガイドさんの説明をお願いしますと、実践したときをお願いしてきます。2020年2月は山本有三記念館でもガイドが

付きます。

ドコモと連携する

- ・モダニズム建築保存活用国際団体ドコモと連携しながら、知名度を高め他地域からの人の流入を促し、地域全体の活性効果をもたらすとともに、地域のモダニズム建築の保存活用知識の底上げを図る。

例えばドコモのイベントの開催場所にし、無償とする一方地域団体は無料で参加可能にする等

子どもから青年への成長に結びつく助けになる施設

・ハイブロー、ハイツな敷居の高い利用者が赤星邸に合うように思うが、市の保有となると難しいでしょう。利用者が限定されるがこのような提案をいたします。

- ① 子どもから青年の成長に結びつくように
- ② 海外の小～大の宿泊施設と武蔵野の生徒、学生との交流
- ③ 海外からの移住者、その家族への日本語学習ヘルプ
- ④ 子ども～大学生のスプリング・サマー・ウィンターのキャンプ、サイエンスキャンプ、ホビーキャンプ etc

子育て世代が使える場所

・近隣の子育て世代が集えるイベントが開かれるような場所
・近隣学校の PTA などが使用できる場所

子ども食堂や多世代向けの食堂

・子ども食堂ではあるが、世代を超えた食堂

飲食スペース・カフェ

・飲食スペースやカフェがあると良い

建物の情報・歴史のアーカイブ・紹介コーナー

・レイモンド、赤星鉄馬を伝える部屋は確保する
・近代建築の資料ルームを作り、交流する
・カトリック・ナミュール・ノートルダム修道女会の思想と活動を伝える

復元して記念館にする

・研究として旧赤星邸の復元をし、一部は、将来的には、入場料で記念館にする

近隣大学との連携

- ・地域の学校（武蔵野自由大学）などの活動拠点

宿泊可能な冠婚葬祭スペース

- ・市民の冠婚葬祭
- ・宿泊を伴う冠婚葬祭のスペース
収益を上げて維持費を賄う

地域の団体や学校などの1泊研修や遠足の場所にする

- ・宿泊を伴う研修とすることで、見えてくる友人の側面があり、友情や愛情が深まる
従来遠隔地にいかなければそのような場所は確保できないが、遠隔地の保養施設では維持が困難である。
現在の立地は、地域の利活用が見込めるとともに、地域の利活用がない場合の有償利用にもなる。
学校の遠足で活用してもらう

リビングルーム（のんびりできる）

- ・保育園児が日替わりで、ピクニック、昼寝する場
- ・地域の歴史や文化を感じながらのんびりできる場所
リビングルーム
芝庭